

平成28年5月13日

崇城大学 宇宙航空システム工学科  
専修課程 航空操縦学専攻  
保護者各位

崇城大学航空機操縦訓本部  
本部長 渡辺 武憲

## 熊本震災における空港キャンパスの現状報告と訓練再開について

日頃より崇城大学にご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
この度の熊本地震に際しまして、皆様に大変ご心配をおかけし、多くのお見舞いと励ましのお言葉を頂き、大学関係者一同心から御礼を申し上げます。また、幸いにして関係者に大きなけがもなく、元気にしております。

空港キャンパスの被災の状況につきましては、格納庫自体に損傷なく、中に格納されていた機材も損傷を受けることなく全機無事であり、整備体制も従来通りの運営が可能となっております。ただ専門家の判断により、講義棟及びシミュレーター棟および宿泊棟の一部（A棟）につきましては損傷が激しく、当分は使用不可となりました。

このような中、残された施設を有効に使用し一刻も早い訓練再開を実現したいと考え、スタッフ一同努力しているところでございます。

具体的には、暫定的に教育施設を格納庫内の空き部屋に展開し、また使用不可となった宿泊棟を利用して一部の学生には使用可能な宿泊棟（B棟）へ移転していただくように考えています。

当然のことながら、訓練の再開にあたっては安全を最優先に考え、地震により受けられたメンタル面の影響につきましても、顧問の専門医によりケアを行うなど、慎重に開始していく所存です。

今回の地震が今後の学生の訓練スケジュールおよび就職試験時期に与える影響につきましては、さらに見極めが必要ですが、大きな影響が懸念されるようでありましたら、個別に相談をさせていただきたいと思っております。

今回、保護者の皆様をはじめ関係各所から頂いた励ましのお言葉を胸にしっかりと取り組み、航空界に寄与出来る人材の育成に、従来にも増して崇城大学あげて取り組む決意を述べさせていただき、ご報告といたします。

敬具